

広報 はむら

3月1日号
平成31(2019)年

郷土博物館では
3月10日(日)まで「ひな人
形展」を開催しています！
ひな人形と一緒に写真が
撮れるりん♪



広報 はむら 平成31年3月1日号

平成31(2019)年3月1日発行 第992号
【発行】羽村市 【編集】羽村市広報広聴課

URL = <http://www.city.hamura.tokyo.jp> ☎042-555-1111 ☎337 FAX 042-554-2921
〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1



愛情ギュッとず〜っとはむら



公式PRサイト ウェブマガジン「はむらぐらし」編集後記 ～『赤ちゃん休憩室』に ついて記事を書いて～

文章を書くことに不慣れで「文章力をつけるのに役立つかな？」「羽村の事を知りたい！」という思いで「魅力発信市民記者」に応募しました。私は千葉県出身で、20歳のころから、都内で一人暮らしをしていました。結婚を機に羽村市に came ましたが、職場と家の往復で羽村市の事をまったく知りませんでした。子どもが生まれ羽村市独自の制度「赤ちゃん休憩室」の存在を知りました。皆さんは「赤ちゃん休憩室」をご存じでしょうか？赤ちゃんのオムツを替えるとき、ミルクをあげたいときに無料で利用でき、公共施設、保育園・幼稚園、飲食店など、現在市内49か所に設置されています。せっかくの良い制度なのに利用が少ないということで、多くの方に知ってほしいと思い記事にしています。



▲「ごはんや ままきっちゃん」の皆さん

今まで「ごはんや ままきっちゃん」「はち動物病院」「みんなのカフェ メリ・メロ」など4か所の記事を書きました。記事を楽しみにして下さる方の声がとても励みになります。

羽村市は、さまざまな魅力にあふれていて、暮らしやすさや子育てのしやすさにつながっています。この魅力が大勢の方に知っていただくため、シティプロモーションの取組みの一つとして、市民が「羽村市魅力発信市民記者」となり取材して書いた記事を、ウェブマガジン「はむらぐらし」に掲載し、発信しています。



▲市民記者「まーちゃん」こと瀧島麻耶さん



▲「みんなのカフェ メリ・メロ」の皆さん

「羽村市魅力発信市民記者」は、記事を書きながら羽村市のこともたくさん知ることができ、自分だけでは思いつかない発想や意見などが聞けて、勉強になります。同世代や子育て中の方が多くいるので、子育ての悩みも相談できるととても良い場だと感じています。「記者」と聞くと難しく大変と思うかもしれませんが、それぞれ仕事をしている仲間が集まるので、助け合いながら活動しています。これからも私たちが書いた記事「はむらぐらし」を読んで応援していただけただら嬉しいです。そして私たちと一緒に羽村市の魅力を発信する仲間も募集しています！



▲「はち動物病院」の皆さん

愛情はむら



問合せ シティプロモーション推進課 ☎399



収蔵品ファイル

その71

シリーズ いれもの②4 「紙製の枡」

明治時代から大正時代の初めごろまで、^{まゆ}繭の取引は枡で計量して行われていました。

^{なかがいん}繭の仲買人が使ったのが紙（和紙）製の枡で、^{まゆ}繭枡とも言われます。仲買人は養蚕農家を直接まわって取引をするため、軽い上に折り畳むことができる紙製の枡は、持ち運びに便利でした。

写真の枡は明治時代半ばごろの製造と思われ、一斗五升を量るものです。縦・横が約25cm、深さが約30cmあります。



▲正面に「^{いっとうごしょう}一斗五升」と墨書されています

問合せ 郷土博物館 ☎558-2561

市公式サイト



市公式PRサイト



Twitter



Facebook



YouTube

